



8月1日は「水の日」

8月1日～7日は「水の週間です」

日常生活では水の大切さを忘れてがちですが、一日の生活は水に始まり水に終わると言っても過言ではありません。

蒲郡の水道の歴史は、約80年前の昭和14年11月に、旧三谷町が水不足と伝染病対策のために通水を始めたのが最初です。その後、昭和29年4月に蒲郡市が事業を引き継ぎ、昭和46年9月からは、愛知県営事業（豊川用水）から100%受水をしています。

蒲郡市には自主水源がありません。水は限られた資源であり、水需要期の今、「水の日」を機会に水の大切さについて、考えてみましょう。

ここでは、節水の知恵を紹介します。さあ、実践してみましょう。

お風呂で

私たちが使用する水の約25%が、お風呂で使われます。風呂水の再利用が、節水の大きな鍵となります。一般家庭で使用されている浴槽は、約200リットルの水が入ります。

毎日、残り湯の半分を再利用すると年間約3万6千リットル（ペットボトル1万8千本分）、5千400円の節約ができます。

節水のポイント

- ・残り湯は、洗たく、掃除、散水などに活用しましょう
- ・水の入れすぎ、沸かしすぎに注意しましょう

洗濯で

風呂の残り湯をしっかりと再利用しましょう。ためすぎで洗たくすれば、1回の水の使用量は約110リットルで済み、流しっぱなしのすすぎに比べて55リットルの節水になります。

節水のポイント

- ・ある程度のまとめ洗いをしましょう
- ・小物は、入浴時に一緒に手洗いしましょう

台所で

流しっぱなしで食器などを洗うと、平均して約110リットルの水を使用します。ため洗いにすると約20リットルで済み、90リットルの節水ができます。

節水のポイント

- ・食器洗い乾燥機も、流しっぱなしの手洗いに比べて1回あたり30リットルの節水ができます。

洗面台で

歯みがきの時、コップにくんでみぐくと3杯程度（0.6ℓ）の水で済み、流しっぱなしは1分で約6リットルも水を使います。3人家族で朝晩2回の歯みがきをする場合、年間約1万2千リットル（ペットボトル6千本分）、千800円の節約ができます。

トイレで

家庭で使う水の約20%が、トイレで流される水です。タンク内に水の入ったビンなどを入れることで、使用水量を少なくすることができます。

節水のポイント

- ・大小のレバーを使い分けましょう

あともう一步

○庭の散水には、米のとき水を利用しましょう。

○洗車は、ホースを使うと約200リットルの水を使用します。バケツにくんで洗うと約50リットルで済み、1回で150リットルの節水ができます。

○2カ月に1回届く「水道使用水量等のお知らせ」で水道使用量を確認し、節水効果を確かめてみましょう。異常に使用水量が多い場合は、漏水の可能性があります。

■問合せ先
水道管理課 ☎66◆1129
水道工事課 ☎66◆1130

渇水対策本部 設置中！

現在、蒲郡市の水源である豊川水系水源池の貯水量が減少しており、節水対策を強化しております。市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、より一層の節水に、ご協力をお願いします。